



7 トレイの設置方法

トレイ設置方法として、既存の資材を活用し、生産者自らトレイ台を設置しているのが一般的です。鋼管、もしくは鉄パイプとコンクリートブロックを組み合わせたものをよく目にします (図-22、-23)。当森林研究所の場合、鉄パイプ (直径 19mm、長さ 5.5m @1,580 円相当) を使用しています (図-24)。いずれの方法も、空中根切り*を想定しています。逆に、トレイを直接地面に設置しますと、コンテナ苗の根が地面 (キャビティ外) に出てしまいますので注意が必要です。なお、トレイ台の高さは膝の高さ程度あれば、トレイの運搬等の作業性は高くなります。



図-22 軽天材を使用したトレイ台 (豊並樹苗生産組合)



図-23 ハウス用ビニペットを使用したトレイ台 (豆原山林樹苗農園)



図-24 鉄パイプを使用したトレイ台 (県森林研究所内)